

東北植物学会第3回大会（秋田大会）

プログラム

2013（平成25）年12月14日（土）～15日（日）

カレッジプラザ（秋田市）

主催：東北植物学会

共催：秋田県立大学

後援：秋田県教育委員会

東北植物学会第3回大会（秋田大会）プログラム

学会長：西谷 和彦（東北大学）

大会長：我彦 廣悦（秋田県立大学）

目次

アクセス情報・会場案内図

大会へ参加される方へ

プログラム概要

プログラム

大会実行委員会（順不同）

我彦広悦（大会会長）、鈴木英治（実行委員長）、山本好和（庶務担当）、小峰正史（庶務担当）、岩崎郁子（広報・中高生発表担当）、水野幸一（会計・懇親会担当）、原光二郎（プログラム・要旨集担当）、上田健治（プログラム・要旨集担当）

[大会に関するお問い合わせ・連絡先]

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西 241-438

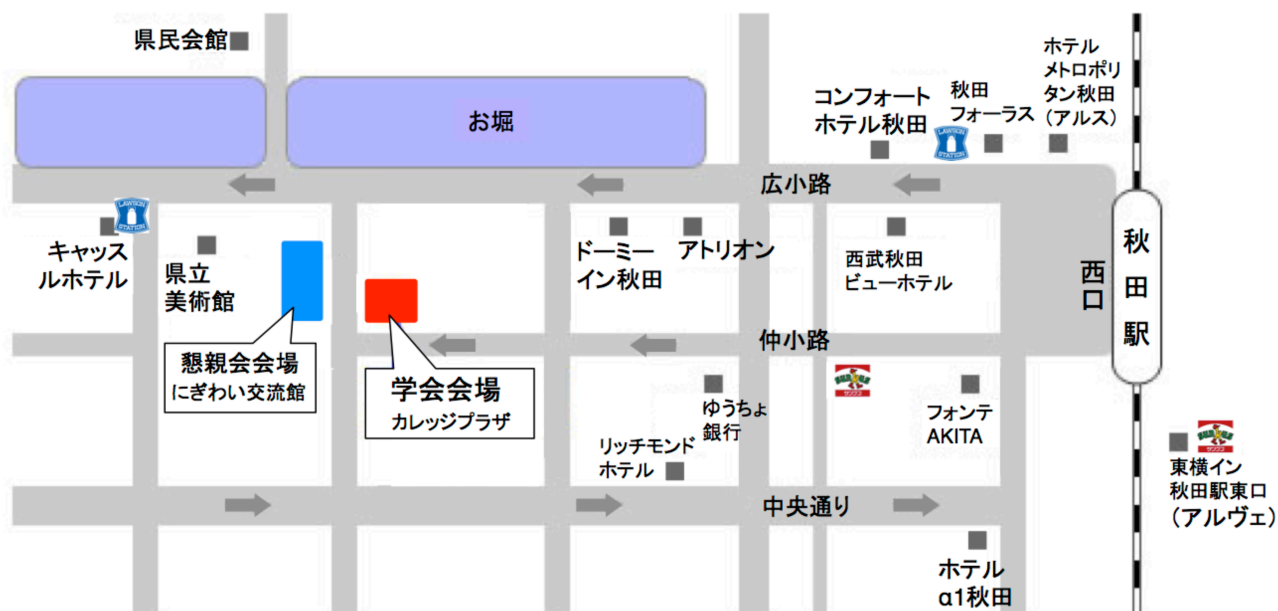
秋田県立大学生物資源科学部

東北植物学会第3回大会（秋田大会）実行委員会

e-mail：TBS2013@akita-pu.ac.jp

Tel：018-872-1652

アクセスマップ（秋田駅～カレッジプラザ）



会場

学会会場：カレッジプラザ（明德館ビル2F）

懇親会会場：にぎわい交流館1F カフェラウンジ（あうんカフェ）

交通案内

秋田駅西口から約600メートル，徒歩10分

中央改札口を出て秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろーど）を右に進むと仲小路に続きます。そのまま西に直進すると，正面に「なかいち」「AU」と書かれたビルがあるT字路にでます。その手前右側にある明德館ビルの2Fが大会会場カレッジプラザです。また，道路をはさんだ向かいの「AU（にぎわい交流館）」の1Fに懇親会会場カフェラウンジがあります。

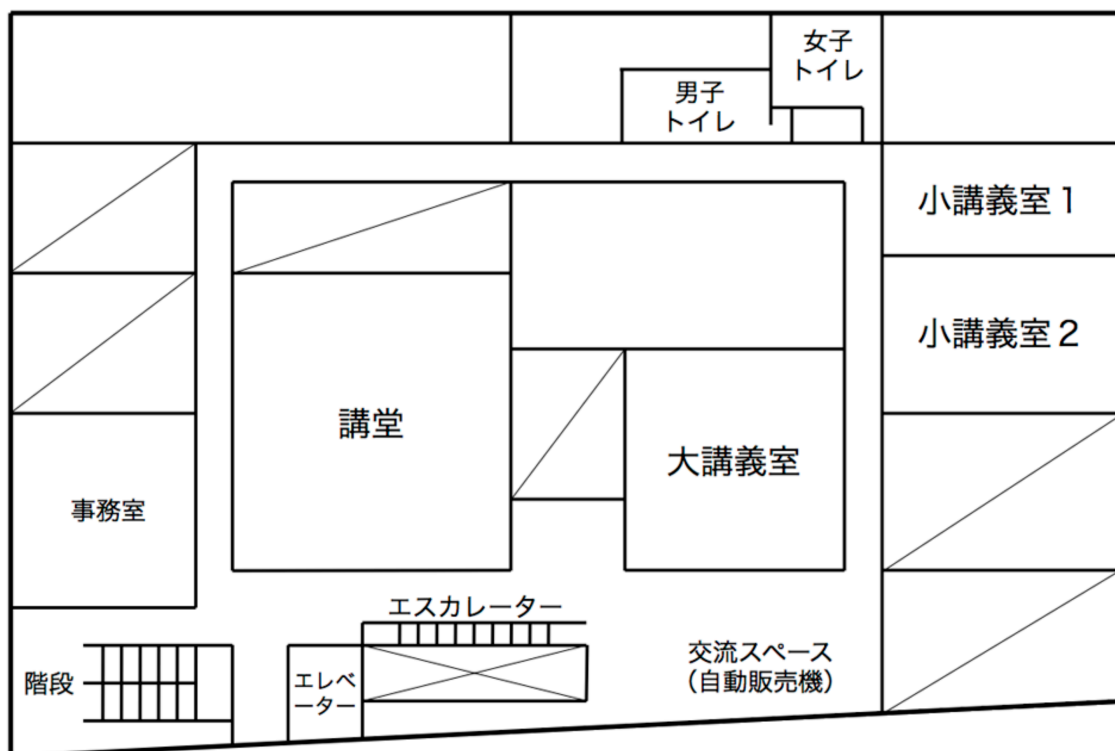
カレッジプラザについて

カレッジプラザは，秋田県内の高等教育機関（大学，短期大学等）が持つ教育研究資源を広く県民の皆様へ開放する拠点として，平成17年4月，秋田市中通2丁目の明德館ビル2階に開設された施設です。（HPより抜粋）

〒010-0001 秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階 カレッジプラザ

TEL: 018-825-5455

会場案内図（カレッジプラザ，明德館ビル2F）



←にぎわい交流館方面

秋田駅方面→

12月14日（土）

東北植物学会活動懇談会：小講義室1

中学生・高校生研究発表，一般講演ポスター発表：小講義室2，大講義室

中学生・高校生研究発表表彰：講堂

公開シンポジウム：講堂

一般講演口頭発表：講堂

休憩室：小講義室1，交流スペース

12月15日（日）

一般講演口頭発表：講堂

総会，大会奨励賞の選出と表彰：講堂

休憩室：小講義室1，交流スペース

大会に参加される方へ

全体的注意

- 1) カレッジプラザがある明德館ビルは全館禁煙です。受動喫煙防止のため、路上等では喫煙せず、県立美術館横の喫煙スペースをお願いします。
- 2) 大会会場での飲食は、休憩室（小講義室1）または交流スペースをお願いします。
- 3) 昼食は、会場および秋田駅周辺に飲食店やコンビニがありますので、そちらをご利用ください。
- 4) 学会で使用する部屋以外には立ち入らないでください。

口頭発表

- 1) 発表時間は、1題あたり持ち時間が15分（発表12分、質疑応答2分30秒、PCの交換30秒）です。発表開始10分後に1鈴、12分後に2鈴、14分30秒後に3鈴を鳴らします。
- 2) 液晶プロジェクターとPCの接続は発表者ご自身でおこなってください。接続ケーブルは実行委員会で準備しますが、Macパソコンなどで特殊なケーブルを必要とされる方はご持参ください。
- 3) 発表者は、口頭発表前の休憩時間等に動作確認をしてください。
- 4) 万一の場合に備えて、発表に必要なファイルをUSBメモリ等でご持参ください。

ポスター発表

- 1) パネルの大きさは、縦120cm×横90cmです。パネルにポスター番号が貼ってありますので、番号を確認して掲示してください。掲示は13:00までをお願いします。
- 2) 貼付け用のテープは実行委員会で用意します（画鋏は使えません）。
- 3) ポスターはできるだけ大会期間中掲示してください。取り外しは、大会終了後（15日13時以降）をお願いします。

大会奨励賞

- 1) 学生会員（ポスドク等を含む）による一般講演発表のうちで最も優れたものに大会奨励賞を授与します。
- 2) 奨励賞選考は、大会参加者の投票により行います。受付時に受け取った投票用紙（口頭発表用、ポスター発表用各1枚）に、本大会で最も優れていると思われる学生発表を選んで講演番号を記入して、受付にある投票箱に投票してください。
- 3) 投票〆切は、大会2日目午前の口頭発表セッションにおける奨励賞選考対象講演後の休憩時間終了時（午前11時45分の予定）とします。
- 4) 得票数が同数の場合には、学会役員及び大会実行委員会で協議の上、受賞者を決定します。
- 5) 表彰は総会時におこないます。

プログラム概要

12月14日(土)

- 10:00 – 12:00 東北植物学会活動懇談会 (小講義室1)
- 12:00 参加受付開始 (カレッジプラザ)
- 13:00 – 14:20 中学生・高校生研究発表 (小講義室2)
一般講演ポスター発表 (大講義室)
- 14:20 – 14:40 中学生・高校生研究発表表彰 (講堂)
- 14:40 – 16:00 公開シンポジウム (講堂)
- 16:00 – 16:10 (休憩)
- 16:10 – 17:55 一般講演口頭発表 (講堂)
- 18:30 – 20:30 懇親会 (にぎわい交流館1F カフェラウンジ)

12月15日(日)

- 8:45 – 11:30 一般講演口頭発表 (講堂)
- 11:30 – 11:45 (休憩)
- 11:45 – 12:45 一般講演口頭発表 (講堂)
- 12:45 – 13:30 総会, 大会奨励賞の選出と表彰 (講堂)

プログラム

12月14日(土)

13:00 – 14:20

中学生・高校生研究発表(小講義室2)

- H1 エゾタンポポの観察
木村琴音*, 向井ひかり, 大澤丞美(青森県八戸市立大館中学校・総合文化部)
- H2 四つ葉のクローバーの出現条件を探る
佐々木辰樹*, 富樫祐斗*, 柳沢道隆, 小玉郁也(秋田県潟上市立羽城中学校・科学部)
- H3 干しゼンマイはなぜ揉むのか
高橋洋祐*, 大高拓海*, 佐藤光希, 鈴木満智, 田代賢一郎, 小田長志歩, 高橋歩, 山本一輝, 小田長啓裕, 小林健太郎, 氏神太一(秋田県立横手清陵学院中学校・ロボット・自然科学部)
- H4 単子葉類と双子葉類のどちらがより効率的に光合成ができるのか
佐藤光*(秋田県雄勝郡羽後町立三輪中学校)
- H5 青森県におけるエゾタンポポの分布とその生態
三上雄一, 田村拓也, 上條真穂, 渡邊櫻(青森県立八戸北高等学校・地学部)
- H6 オオハンゴンソウの生態と駆除
馬渡愛, 三上瑠奈, 田中優希代, 田名部実梨(青森県立八戸北高等学校・SSH オオハンゴンソウ班)
- H7 生きた化石『メタセコイア』の知恵～未来へつなげる種～
大嶋健資, 長者久保昂代(青森県立八戸高等学校・自然科学愛好会)
- H8 新エネルギー発見!
亀田真吾*, 金澤知真*, 佐藤洋光*(秋田県立大館鳳鳴高等学校・2年理数科)

- H9 セシウム除去装置の研究
池田有里佳*, 佐藤由李亜, 鈴木寛久 (秋田県立秋田北鷹高等学校)
- H10 ～ヤマビル生息環境の探究～
工藤彩*, 佐藤晃平*, 新林茜, 大久保龍太 (秋田県立金足農業高等学校)
- H11 電子レンジ加熱したサツマイモの甘さについて
目黒亜衣*, 近藤優成, 小松亮介 (秋田県立秋田中央高校・躍進探究部)
- H12 じゅんさいによる突然変異抑制効果の研究
加藤渉*, 進藤瑠璃, 土佐龍馬, 松村雄己* (秋田県立秋田南高等学校・自然科学部・がん研究班)
- H13 食品保存料ナイシンの抗菌効果を促進する物質の探索
古井瑛恵*, 金詩織, 富樫知聖, 北林涼輔, 鈴木優太郎* (秋田県立秋田南高等学校・自然科学部・食品保存料班)
- H14 シロツメクサの多葉形成の季節変化
大澤慧天*, 佐藤大輝*, 平田悠理 (秋田県立横手清陵学院高等学校・自然科学部)
- H15 ヤセイカンラン4変種の葉の形成に関する研究
安田裕也, 松本健太郎, 佐々木尊, 鬼川優, 高橋亜美*, 柴田佳史* (秋田県立横手清陵学院高等学校・自然科学部)
- H16 鳥海山の雪形の観察—「眠る子どもの顔」の植生—
平田悠理* (秋田県立横手清陵学院高等学校・自然科学部)
- H17 岩手県洋野町における西洋タンポポとエゾタンポポとの比較
田代清也*, 三本木龍生, 舘市健太郎 (岩手県立大野高等学校・自然科学部)

13:00 – 14:20

一般講演ポスター発表（大講義室）（㊦，奨励賞選考対象）

- P1㊦ 陸前高田市立博物館収蔵地衣標本の再鑑定
小林優維^{*}，原光二郎，小峰正史，山本好和（秋田県立大・院・生物資源）
- P2㊦ 異なる環境に生育するキリンソウ（*Phedimus aizoon* var. *floribundus*）の形態的・遺伝的変異
渡邊陽^{1*}，吉田政敬²，武浪秀子²，高橋睦美¹，横山潤¹（¹山形大・理・生物，²山形大・院・理工）
- P3㊦ イチヤクソウ *Pyrola japonica* は異なる系統によって栄養形式を変化させる
首藤光太郎^{*}，兼子伸吾，黒沢高秀（福島大・共生システム理工）
- P4 異なる光条件で生育するスミレ属無茎種2種の二型花のフェノロジー
（1）越冬時期から開花時期までの二型花の生産推移
武田真一^{*}（岩手県盛岡市）
- P5㊦ 山形県におけるカキラン（*Epipactis thunbergii*）の訪花昆虫相
薄井優悟^{1*}，高橋満月¹，鈴木政紀²，牧野崇司¹，武浪秀子²，横山潤¹（¹山形大・理・生物，²山形大・院・理工）
- P6㊦ ガ類の体表面花粉分析によるガ媒植物の網羅的探索の試み
高橋満月^{*}，横山潤（山形大・理・生物）
- P7㊦ エゾリンドウ(*Gentiana triflora*)における標高によるエンドファイト真菌類の種組成の差異
小谷文乃^{1*}，武浪秀子²，高橋睦美¹，横山潤¹（¹山形大・理・生物，²山形大・院・理工）
- P8㊦ 山形県県民の森大平沼産スエシア科渦鞭毛藻1株の休眠シスト形成条件
藤本和樹^{1*}，高橋和也²，岩滝光儀¹（¹山形大・理・生物，²山形大・院・理工）
- P9㊦ パラオで採集された海産付着性有殻渦鞭毛藻1種の形態と生活環
伊藤やよい^{1*}，高橋和也²，岩滝光儀¹（¹山形大・理・生物，²山形大・院・理工）

- P10^要 青森県域におけるストレス耐性微細藻株の単離とその形態および系統解析
似内菜月*, 柿崎かおり, 鬼頭薫, 前多隼人, 大河浩 (弘前大・農学生命)
- P11^要 単子葉モデル植物ミナトカモジグサを用いた低温馴化機構の解析
中山貴人^{1*}, 高橋大輔², 河村幸男^{1,2}, 上村松生^{1,2} (¹岩手大・農・寒冷バイオ, ²岩手大・院・連合農学)
- P12^要 Understanding the role of protein trafficking in regulating plant growth and development under cold stress
Eisuke Kobayashi*, Abidur Rahman (Cryobiofrontier Research Center, Iwate University)
- P13^要 Actin isovariant ACT7 regulates root meristem development through modulating PIN1 mediated auxin transport
Takahiro Numata^{1*}, Muthugapatti K. Kandasamy², Richard B. Meagher², Abidur Rahman¹ (¹Cryobiofrontier Research Center, Faculty of Agriculture, Iwate University, ²Department of Genetics, Division of Life Sciences Complex, University of Georgia)
- P14^要 Actin dynamicity regulates the herbicidal effect of auxinic herbicide 2,4-dichlorophenoxyacetic acid
Kana Umetsu*, Abidur Rahman (Cryobiofrontier Research Center, Iwate University)
- P15^要 Understanding the mechanism of secondary root development using *Arabidopsis* natural variants
Miori Yoshida*, Abidur Rahman (Cryobiofrontier Research Center, Faculty of Agriculture, Iwate University)
- P16^要 植物の細胞質分裂を制御するキネシンと相互作用する新奇プロテインホスファターゼのシロイヌナズナホモログの解析
大和田理恵^{1*}, 笹部美知子¹, 中野理恵², 南明希², 町田泰則² (¹弘前大・農学生命, ²名大・院・理)
- P17^要 トマト果実の発達段階における PEPC 活性制御機構の解析
和田みさき*, 信平華寿, 大久保星花, 田中康史, 大河浩 (弘前大・農学生命)

- P18^奨 トマト (*Solanum lycopersicum* cv. Micro-Tom) における分裂期マーカーの作製
相田治寿*, 笹部美知子 (弘前大・農学生命)
- P19 シロイヌナズナ根の水分屈性制御を担う GNOM の機能ドメインの遺伝学的解析
森脇哲平¹, 宮沢豊^{2*}, 藤井伸治¹, 高橋秀幸¹ (¹東北大・院・生命科学, ²山形大・理・生物)
- P20^奨 細胞膜型アクアポリン OsPIP1;1 の N 端領域と細胞内輸送
渡部絵梨子*, 松本直, 土岐みさ, 岩崎郁子 (秋田県立大・生物資源・応用生物・植物機能科学)
- P21^奨 液胞への Cd 輸送に必要な OsHMA3 の C 末端領域の解析
熊谷さおり^{1*}, 鈴木辰弥², 佐藤 (永澤) 奈美子², 高橋秀和², 櫻井健二², 渡辺明夫², 赤木宏守² (¹秋田県立大・院・生物資源, ²秋田県立大・生物資源)
- P22 イネの花粉形成には CCA 付加酵素が重要である
上田健治*, 我彦広悦 (秋田県立大・生物資源)
- P23^奨 *ipt* 遺伝子導入によるイネ未熟種子サイトカイニン蓄積量の増加
古田佳奈^{1*}, 田母神繁¹, Ivan Galis², 北條優子¹, 上田健治¹, 我彦広悦¹ (¹秋田県立大・生物資源, ²岡山大・資源植物科学研)
- P24^奨 植物腫瘍化遺伝子 *6b* 植物における病害抵抗性遺伝子上昇と植物ホルモンへの影響
大澤雪^{1*}, 光田展隆², 高木優², 上田健治¹, 我彦広悦¹ (¹秋田県立大・生物資源, ²産総研)
- P25^奨 薬用植物オウレン培養苗における出芽制御
和泉有紗*, 原光二郎, 山本好和, 小峰正史 (秋田県立大・生物資源科)
- P26^奨 シアノバクテリアにおける貯蔵多糖の多様性及び形質転換株を用いた生合成メカニズムの解析
菅原優美*, 藤田直子, 尾崎紀昭, 鈴木英治 (秋田県立大学・生物資源)
- P27 新規ブラシノステロイド生合成阻害剤
山田和弘, 星智樹, 松本直, 吉澤結子, 王敬銘* (秋田県立大・生物資源)

P28 ブラシノステロイド生合成阻害剤 YCZ-18 の標的酵素の解析と生物活性
松本直*, 鈴木龍一郎, 山田和弘, 星智樹, 吉澤結子, 王敬銘 (秋田県立大・生物資源)

P29^奨 ブラシノステロイド生合成阻害剤蛍光プローブの合成と生物活性
星智樹*, 松本直, 山田和弘, 吉澤結子, 王敬銘 (秋田県立大・生物資源)

P30^奨 地衣類の間葉系幹細胞走化性スクリーニング
佐藤里香^{1*}, 川上寛子¹, 原光二郎¹, 小峰正史¹, 山本好和¹, 前田明人² (¹秋田県立大・生物資源, ²大阪大学)

P31^奨 パラゴムノキラテックス中のゴム粒子の重合活性
石澤千洋*, 中村武志, 大谷典正 (山形大・理)

P32^奨 セイタカアワダチソウから抽出したポリプレニルニリン酸の構造解析
佐々木理沙^{1*}, 中村武志¹, 佐上博², 大谷典正¹ (¹山形大・理, ²東北大・多元研)

14:20 – 14:40

中学生・高校生研究発表表彰 (講堂)

14:40 – 16:00

公開シンポジウム「地域資源植物の探求と世界への発信」(講堂)

【座長：鈴木英治 (秋田県立大学)】

14:40


S1 スギ葉緑体ゲノムの完全塩基配列データとゲノム研究への応用
高田克彦 (秋田県立大学高度木材加工研究所)

15:20

S2 イネの澱粉代謝をめぐる諸問題
中村保典 (秋田県立大学生物資源科学部)

16:00 – 16:10 (休憩)

16:10 – 17:55

一般講演口頭発表（講堂）（, 奨励賞選考対象）

【座長：黒沢高秀（福島大学）】

16:10

- O1 チョウカイフスマとメアカンフスマの生態的・分類的研究 小さな発見から意外な発展へ フィールド調査の楽しさ
堀井雄治郎（秋田 みちのく植物研究会）

16:25

- O2^奨 スミレ属の新規異節間交雑個体-ナガハシスミレ×マキノスミレ-
吉田政敬^{1*}, 武田眞一², 横山潤³（¹山形大・院・理工, ²盛岡市, ³山形大・理・生物）

16:40

- O3^奨 半寄生植物ヒノキバヤドリギにおけるエンドファイト菌種構成の宿主植物による差異
武浪秀子^{1*}, 横山潤²（¹山形大・院・理工, ²山形大・理・生物）

16:55

- O4^奨 東北地方に分布するエゾエンゴサク（ケシ科）の花形質と訪花昆虫相の関係
鈴木政紀^{1*}, 高橋睦美², 牧野崇司², 山岸洋貴³, 横山潤²（¹山形大・院・理工, ²山形大・理・生物, ³弘前大・白神自然観察園）

【座長：上村松生（岩手大学）】

17:10

- O5^奨 山形県県民の森におけるシヌラ藻の分布特性
古内一平^{1*}, 高橋和也¹, 岩滝光儀²（¹山形大・院・理工, ²山形大・理・生物）

17:25

- O6^奨 西太平洋沿岸より採集した底生性無殻渦鞭毛藻 *Amphidinium* 属の形態と系統
笹井理美^{1*}, 高橋和也¹, 岩滝光儀²（¹山形大・院・理工, ²山形大・理・生物）

17:40

- O7^奨 山形県県民の森湖沼群より採集した淡水産スエシア科渦鞭毛藻 1 種の形態
高橋和也^{1*}, 岩滝光儀²（山形大・院・理工, 山形大・理・生物）

18:30 – 20:30

懇親会（にぎわい交流館 1F カフェラウンジ）

12月15日(日)

8:45 – 11:15

一般講演口頭発表(講堂)(㊦, 奨励賞選考対象)

【座長：山本好和(秋田県立大学)】

8:45

- O08㊦ 常連客ほど長居する? : 全頭マーキングから迫る送粉者の個体別株訪問頻度と株あたり訪花数の関係
牧野崇司* (山形大・理・生物)

9:00

- O09㊦ カルスを利用した天然ゴム生産
木立卓巳^{1*}, 菱沼佑², 大谷典正³ (¹山形大院・理工・物質生命, ²山形大・理・生物, ³山形大・理・物質生命)

9:15

- O10㊦ イネ遺伝子 *OsREX1-S* は DNA 損傷修復能を高めることにより植物にカドミウム耐性を付与する
國廣俊太^{1*}, 木幡光¹, 近藤陽一², 高橋真哉², 松井南², Thomas Berberich³, Youssefian Shohab⁴, 日出間純¹, 草野友延¹ (¹東北大・院・生命, ²理研・環境資源研究センター, ³BiK-F, ⁴秋田県立大)

9:30

- O11㊦ カドミウムとヒ酸に対する反応性のシロイヌナズナエコタイプ間での違いと新規ヒ酸反応性決定遺伝子の探索
木幡光^{1*}, 井上雅貴¹, 國廣俊太¹, 松田大樹¹, 藤井伸治¹, ショハブ・ユセフィアン², 高橋秀幸¹, 草野友延¹ (¹東北大・院・生命, ²秋田県立大・生物資源)

【座長：鈴木隆(山形大学)】

9:45

- O12㊦ パラ科果樹モモにおけるソルビトール輸送遺伝子の単離と解析
菅原美穂*, 大澤雪, 服部浩之, 頼泰樹, 上田健治, 我彦広悦 (秋田県立大・生物資源科学部)

10:00

- O13㊦ GPI-anchored Protein に着目した低温馴化応答機構の解明 ~GPI-Proteome 解析を基盤として~
高橋大輔^{1*}, 富永陽子², 河村幸男^{1,2}, 上村松生^{1,2} (¹岩手大・院・連合農学, ²岩手大・農・寒冷バイオ)

10:15

- O14[㊦] クリプトクロムの新たな生理作用 ～青色光と低温馴化～
今井裕之^{1*}, 河村幸男¹, 長谷あきら², 上村松生¹ (¹岩手大・農・寒冷バイオ,
²京都大・院・理)

10:30

- O15[㊦] シロイヌナズナ低温馴化および脱馴化過程における細胞膜プロテオミクス:
シグナル伝達関連タンパク質に着目して
三木雄史^{1*}, 高橋大輔², 河村幸男^{1,2}, 上村松生^{1,2} (¹岩手大・農・寒冷バイオ,
²岩手大・院・連合農学)

【座長：大河浩（弘前大学）】

10:45

- O16[㊦] プロトプラストからの細胞壁再生系を用いたレクチンの機能解明
九鬼寛明*, 横山隆亮, 浅岡凜, 篠原直貴, 西谷和彦（東北大・院・生命科学）

11:00

- O17[㊦] 植物器官の伸長成長から支持組織形成への切り替えを担う分子機構の解明
鳴川秀樹*, 篠原直貴, 浅岡凜, 横山隆亮, 西谷和彦（東北大・院・生命科学）

11:15

- O18[㊦] シロイヌナズナ水分屈性制御因子 MIZ1 の局在制御に対する MIZ2 の機能の解析
久家徳之^{1*}, 高橋秀幸², 宮沢豊¹ (¹山形大・理・生物, ²東北大・院・生命科学)

11:30 – 11:45 （休憩，選考投票〆切）

11:45 – 12:45

一般講演口頭発表（講堂）

【座長：水野幸一（秋田県立大学）】

11:45

- O19 水分屈性制御因子 MIZ1 と相互作用して水分屈性を調節する因子の探索
山崎誠和¹, 小林啓恵^{1*}, 宮沢豊^{1,2}, 藤井伸治¹, 高橋大輔³, 河村幸男³, 上村松生³,
高橋秀幸¹ (¹東北大・院・生命, ²山形大・理, ³岩手大・農)

12:00

- O20 PME35 の細胞内動態解析 – 活性化機構の解明を目指して
浅岡凜*, 本郷祥子, 横山隆亮, 西谷和彦 (東北大・院・生命科学)

12:15

- O21 キュウリ内皮細胞における CsPIN1 オーキシン排出キャリアの局在変化の重力応答性
藤井伸治^{1*}, 山崎千秋^{1,2}, 宮沢豊^{1,3}, 鎌田源司⁴, 笠原春夫⁵, 長田郁子⁵, 嶋津徹⁶,
伏島康男⁶, 東端晃⁷, 山崎丘⁷, 石岡憲昭⁷, 高橋秀幸¹ (¹東北大・院・生命科学, ²現 横
浜市大・木原生研, ³現 山形大・理・生物, ⁴(株)エイ・イー・エス, ⁵有人宇宙シス
テム(株), ⁶(財)日本宇宙フォーラム, ⁷宇宙航空研究開発機構)

12:30

- O22 膜輸送体ファミリーに属する新 OsMFS1 輸送体について – イネにおける Cd
長距離輸送トランスポーター機能と Cd 吸収促進 –
阿部みどり^{1*}, 藤田祥吾¹, 迫田賢治¹, 石川祐一¹, 小西智一¹, 草野友延², ユーセフ
ィアン・シヨハブ¹ (¹秋田県立大・生物資源, ²東北大・院)

12:45 – 13:30

総会, 大会奨励賞の選出と表彰 (講堂)